

令和4年第7回定例教育委員会会議録

1 開催日	令和4年7月12日(火)	
2 開催場所	市役所本庁舎601会議室	
3 出席した委員	教 育 長 中 川 宣 芳 委 員 山 田 周 司 委 員 伊 藤 和 子 委 員 加 藤 由 美 委 員 野 中 亮 秀	
4 欠席した委員	なし	
5 説明のため に出席した 職員	教 育 部 長 石 川 徹 健 康 生 き が い 支 え 合 い 推 進 部 長 入 江 慎 介 こども未来部長 鍛治屋 勉 教 育 部 次 長 伊 藤 京 子 こども未来部次長 川 尻 卓 哉 教 育 総 務 課 長 小 川 正 夫 学校給食課長 林 泰 博 学 校 給 食 課 主 幹 小 川 敬 介 学校教育課長 安 部 美 早 恵 学 校 教 育 課 管 理 指 導 主 事 兼 主 幹 采 女 隆 一 学校教育課指導主事兼主幹 鈴 木 久 代 学 校 教 育 課 指 導 主 事 兼 主 幹 兼 学 校 教 育 ICT 推 進 室 主 幹 塚 本 真 也 学校教育ICT推進室長 櫻 井 晃 生 文 化 財 課 長 兼 小 牧 山 課 長 武 市 礼 子 図書館長 矢 本 博 士 図 書 館 主 幹 山 田 久 文化・スポーツ課長 藤 田 伸 也 味 岡 市 民 セ ン タ ー 所 長 小 川 喜 世 子 東部市民センター所長 松 浦 正 記 北 里 市 民 セ ン タ ー 所 長 水 野 清 志 こども政策課長 伊 藤 加 代 子 幼 児 教 育 ・ 保 育 課 長 野 田 弘 幼児教育・保育課指導保育士 近 藤 江 里 子 教 育 総 務 課 庶 務 係 長 遠 山 史 織	
6 本委員会書記	教育総務課庶務係主査 山 田 晶 尚 教 育 総 務 課 庶 務 係 主 事 補 山 口 あ ゆ み	
7 議題	議案第38号 教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関することについて 議案第39号 令和5年度使用小中学校教科用図書の採択について 議案第40号 附属機関の委員の任命について	
8 報告及び連絡事項	報告第1号 事務局職員の人事案件について 報告第2号 愛知県市町村教育委員会連合会令和5年度文教施策と予算措置に関する要望事項の提出について 報告第3号 行政文書の開示について 連絡事項 8・9月行事予定 報告第4号 小牧市学校給食に係る給食費取扱要綱の改正について 報告第5号 小牧市小中学校第3子以降児童生徒学校給食費無償化実施要綱の制定について 報告第6号 教職員の人事案件について	

報告第 7号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第 8号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第 9号	令和3年度一般財団法人こまき市民文化財団事業報告及び収支決算について
報告第10号	令和3年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業報告及び収支決算について
報告第11号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第12号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第13号	小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について
報告第14号	行政文書の開示について
報告第15号	小牧市教職員に係るハラスメント防止対策の基本方針について

<開会 午後 2時00分>

公開会議

○教育長（中川宣芳）

ただいまより令和4年第7回定例教育委員会を開催いたします。

本委員会に3人の傍聴の申出がありましたので、ご報告いたします。

それでは、6月13日開催の令和4年第3回臨時教育委員会の会議録及び6月21日開催の令和4年第6回定例教育委員会の会議録につきましては、お手元にお示しのとおり、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

それでは、会議録は承認とさせていただきます。

続きまして、新任の小牧市教育委員会委員のご紹介をさせていただきます。

野中亮秀委員におかれましては、6月議会で小牧市教育委員会委員の任命について、市議会の同意をいただき、7月1日付けで市長より辞令を交付されました。令和4年7月1日から令和6年9月30日までを任期として、小牧市教育委員会委員に就任していただくこととなります。よろしく願いいたします。

ここで、野中委員からご挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員（野中亮秀）

初めまして、野中亮秀と申します。

中川教育長様、先輩の教育委員の皆様にご指導いただき、微力ながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ありがとうございました。

なお、議席につきましては、「小牧市教育委員会会議規則」第5条の規定において、「委員の議席は教育長が定める」とされておりますので、私から指定させていただきます。皆さんが現在お座りになっている席次を議席とさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議席につきましては、現在着席されている席次とさせていただきます。

続きまして、私から教育長報告をさせていただきます。

市内各学校におきましては、来週20日水曜日に1学期の終業式を迎えることとなっております。新型コロナウイルスの影響も3年目を迎え、まだまだ家庭生活・学校生活それぞれの場において多くの制約を受け一方、様々な活動様式が模索され、少しずつではありますが、従来の生活が戻ってきているように感じます。そうした折、昨今また再び感染者数が上昇傾向にあるということを非常に心配するところでもあります。

そうした状況の中で、5月半ばから6月30日までの月曜・木曜を中心に前期の学校訪

間が実施されました。今年度も昨年度同様、半日日程での実施ではありましたが、実施校の児童生徒の学校生活の様子などを確認することができました。訪問したどの学校も、1人1台端末等を有効に活用して、学び合う学びの深化に努める様子が見られ、学校現場の創意を感じることもできた次第です。

学期末に当たりまして、4月からの教育活動を通して、一人ひとりの児童生徒がどのように成長をし、新たにどんな課題が見いだされたかを40日に及ぶ夏休みのチャイムのない家庭生活の中でじっくり振り返り、2学期から新たなチャレンジの気持ちを持てるよう過ごしてくれることを強く願うばかりであります。

また、今年の夏も全国各地で線状降水帯の発生に伴い、人々の生活に甚大な影響を及ぼす状況が続いております。そうした気象状況の中で、なおかつ新型コロナウイルス感染、熱中症、そして交通安全に気をつけて、児童生徒全員が安全で安心できる家庭生活を送ってくれることを切に願うばかりであります。

私からの報告は以上であります。

次に、部長報告をお願いいたします。

石川教育部長。

○教育部長（石川徹）

私からは1件の報告をさせていただきます。

令和3年度の教育費の決算状況についてでございます。

令和3年度の教育費全体の決算額は101億2,308万円余となっております。一般会計の決算額613億3,743万円余に対し、約16.5%を占めております。

令和2年度の決算額と比較いたしますと約23.4%減少しております。これは小牧南小学校改築事業で12億1,444万円余が増となっておりますが、図書館施設建設事業で30億7,294万円余が減となったものが主な要因でございます。令和3年度決算につきましては、9月の定例市議会にてご審議、ご議決をいただく予定でございます。

報告は以上でございますが、本日の報告及び連絡事項のうち、報告第1号の「事務局職員の人事案件について」及び報告第6号の「教職員の人事案件について」は、人事に関する案件でございますので、最後に非公開にて報告させていただきます。よろしくお願いたします。

私からは以上です。

○教育長（中川宣芳）

報告第1号及び報告第6号については、人事に関する案件でありますので、後ほど非公開にて報告を受けることに、ご異議ございませんか。

（発言なし）

それでは、報告第1号及び報告第6号は、後ほど非公開にて報告を受けます。

それでは議題に入ります。

初めに、議案第38号「教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関することについて」、事務局の説明を求めます。

伊藤教育部次長。

○教育部次長（伊藤京子）

それでは、ただいま議題となりました議案第38号につきまして、ご説明を申し上げます。

1 ページをお願いいたします。

議案第38号「教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関することについて」であります。

この案の提出理由であります。令和3年度における教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びのその公表について定めるため必要があるからであります。

その内容は、1として、点検及び評価に関すること、2として、公表に関することについてであります。

この点検と評価であります。 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項で、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない」とされております。また、第2項では、「点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」とされております。

そのため、学識経験者などから成る評価委員会におきまして、令和3年度教育委員会基本方針の中で定められております重点施策に対しての点検評価を行い、報告書としてまとめたところであります。

この報告書の案でございますが、本日ご議決をいただきますと、小牧市議会議長宛てに提出し、小牧市議会の第3回定例会、いわゆる9月議会で報告をいたします。

また、9月議会の開催時期に合わせて、小牧市情報公開コーナーとホームページでも公表をする予定でございます。

それでは、その報告書につきまして、ご説明させていただきます。

別冊1をお願いいたします。

小牧市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書であります。

第1に、点検及び評価の対象及び実施日であります。実施日につきましては、現在、空欄となっておりますが、本日ご議決いただきましたら、本日の日にちを記入させていただきます。

第2に、点検及び評価の方法をこちらに記載させていただいております。

第3の点検及び評価の結果につきましては、点検評価シートに記載をしております。

それでは、点検評価シートについてご説明させていただきますので、別冊1の1ページ

をお願いいたします。

まず、点検評価シート全般にわたることといたしまして、令和3年3月15日開催の令和3年第3回定例教育委員会でご議決いただきました「令和3年度教育委員会基本方針」では、教育振興基本計画で8つの基本目標ごとに示した施策の中から、「「学び合う学び」を支える教員研修の実施」を始めとする30の「具体的な取組」を定め、重点施策として取り組んでまいりました。この30の「具体的な取組」のそれぞれについて、教育委員会による点検を行い、それに対して、評価委員会でご意見・評価をいただき、点検評価シートにまとめております。

点検評価シートの構成であります。表をご覧ください。

この1ページ目の表にありますように、左側の上段から「具体的な取組」と「内容」、それに対しまして教育委員会による自己点検・自己評価として、次の「達成状況」にその成果・実績評価を記載し、2ページをお願いいたします、さらに「課題」と「今後の取組の方向性」を洗い出しています。2ページから3ページにわたりますが、「評価委員の意見等」の欄には、学識経験者などによる外部評価として、小牧市教育振興基本計画推進会議及び評価委員会でご委員の皆様からいただきましたご意見・評価を記載しております。

点検評価シートの内容については、時間に限りがございますので、大変恐縮ではございますが、概要をご説明させていただきます。

再び前のページの点検評価シートの1ページにお戻りください。

基本目標1「時代を切り拓く力を育む「学び」の充実」におきましては、3つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

8ページまでに、基本目標1の3つの取組み、それぞれに対して、いただいたご意見を「評価委員の意見等」の欄に記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

続きまして、9ページをお願いいたします。

基本目標2「認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成」では、2つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

先ほどの基本目標1と同じように、12ページまでに、基本目標2の2つの取組みを、それぞれに対して、様々なご意見をいただき、「評価委員の意見等」の欄に記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

13ページをお願いいたします。

基本目標3「未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり」では、5つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

26ページまでに、基本目標3の5つの取組み、それぞれにいただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

27ページをお願いいたします。

基本目標4「家庭・地域・学校との連携による教育の推進」では、2つの「具体的な取

組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

30ページまでに、2つの取組みそれぞれに、いただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

31ページをお願いいたします。

基本目標5「豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり」では、4つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

38ページまでに、4つの取組みそれぞれに、いただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

39ページをお願いいたします。

基本目標6「誰もが参加できるスポーツ活動の展開」では、5つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

46ページまでに、5つの取組みそれぞれに、いただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

47ページをお願いいたします。

基本目標7「市民がともにつくる文化・芸術の振興」では、4つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

52ページまでに、4つの取組みそれぞれに、いただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いします。

続きまして、53ページをお願いいたします。

基本目標8「郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承」では、5つの「具体的な取組」を重点施策と位置づけ、取り組みました。

61ページまでに、5つの取組みそれぞれに、いただいたご意見を記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

このように取組みごとに令和3年度に実施した事業内容について点検を行い、それに対して評価委員より様々なご意見をいただきました。

時間の都合上、大変簡単ではございますが、以上で議案第38号のご説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第38号についてでございますが、量が非常に多いですので、少しお時間を取りたいと思います。

その上で、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

毎年、点検評価の資料を見せていただいて、評価委員さんの意見が多々上がってきていると思うのですが、そういった意見を例えば次年度なり、その年度内なりで、実現し

たり、やり方を変えていったりと、こういった意見を参考にして経過報告のような欄があったらいいのにと毎年見て思っているのですが、そのような欄を作られるお考えはありますか。

せっかく評価をいただいているのに、市としては受け止めるだけではなくて、こういうふうに動きましたという内容も記載してあると、私たち委員も読んでいて分かりやすいですし、また一般市民の方にお届けする場合も皆さんが共有でき、市の考え方なども記入できると思うので、お仕事を増やして申し訳ないのですが、そのような欄があるといいなと思っていたので、お話しさせていただきました。

○教育長（中川宣芳）

小川教育総務課長。

○教育総務課長（小川正夫）

現在は、評価委員さんの意見等を踏まえまして、翌年度の基本方針、重点施策として位置づける形で、事務を進めているところです。

いただきましたご提案は、参考にさせていただいて、検討させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい、大丈夫です。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

山田委員。

○委員（山田周司）

私からはあまり聞くことがないように思います。評価委員さんのご意見が皆さんお優しく、あまりご指摘等はないし、頑張ってくださいのような意見がたくさんあって、私からもお聞きすることは少ないです。

9ページから10ページのブックリストの活用で、大まかな制度は分かるのですが、取組みを推進しましたとか、小学校1年生や中学校1年生に配付しましたとか、こういう制度設計をやっていますとあるのですが、実際どのように実績として、活用されているのかという記載がないように思うので、その辺が寂しいと思います。その実績がお分かりになれば教えていただけませんかでしょうか。

○教育長（中川宣芳）

山田主幹。

○図書館主幹（山田久）

確かに実績の数値や、どのような成果があったという内容は書き足りないと思っております。

ますので、今後機会がありましたら追加していきたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（山田周司）

せっかく評価委員さんも褒めておみえになるので、ぜひそういう数値等が分かれば記載していただきたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

今のブックリストに関するところなのですけれど、評価委員さんのご意見の中に「図書館や学校図書室に行きたくなるような環境整備を、今後考えてもよいのではないのでしょうか」というご意見があり、やはり何となく閉ざされた空間の図書室というイメージを持つ子も多い気がするのですけれども、それに対して、各学校で開放的な空間になるような工夫を、今後いろいろ試行錯誤しながら取り組んでいただければ、ありがたいなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

山田主幹。

○図書館主幹（山田久）

ご意見いただきましてありがとうございます。

環境整備についても毎年実施しているのですけれども、この点検評価シートには十分書き切れないところがありまして、本の入替えや掲示物の作成なども実施しておりますので、今後もう少し具体的に書けるとよいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○委員（加藤由美）

お願ひします。

本の並べ方といったことも、すごく興味を引き立てるものになっていくと思いますので、ぜひお願ひします。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

山田委員。

○委員（山田周司）

29ページの放課後子ども総合プランは、今年度は4校を増やして6校で実施するのでしたか。令和5年度からは、さらに全校に対してどうするかを考えていく方向性でしたか。

○教育長（中川宣芳）

伊藤こども政策課長。

○こども政策課長（伊藤加代子）

放課後子ども総合プランにつきましては、山田委員おっしゃられますとおり、令和3年度は2校をモデル校として実施してまいりました。令和4年度は、そこに4校を追加しまして6校で実施という予定で、令和5年度はさらに6校の追加を今のところ計画しております。以上です。

○教育長（中川宣芳）

よろしいでしょうか。

ほかにございますか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

27ページ、28ページの基本目標4「家庭・地域・学校との連携による教育の推進」で、幼稚園、保育園と小中学校との連携がここにも取り上げられていて、毎年様々な形で取り組んでいただいておりますので、本当にありがたいなと思っています。

「今後の取組の方向性」にも「具体的な実践方法について考えていく」という文言が入っているのですが、この「具体的な」というところを明確にさせていただきたいのと、連携・接続に関して、特に学びの接続を意識して取り組んでいただきたいと思います。幼稚園や保育園での遊びを中心とした学びから教科的な学びに変わっていくのですが、その学びがどのように接続していくかを、例えば公開保育や研修等で明らかにしながら、それが実践的につながっていくように考えていただけるとありがたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

野田幼児教育・保育課長。

○幼児教育・保育課長（野田弘）

ご意見ありがとうございました。

27、28ページの「教育・保育の質の向上」で、幼児期から小学校への学びの接続についてのご意見でした。

実は、今年度も第1回目の幼年期教育連携推進会議を開催したところでございます。今年度、委員を改選させていただきまして、新たな委員で、新たな取組みとしてグループ討議を中心に、まずは話合いの場を設けました。

今後、研修や第一幼稚園の公開保育などを通じまして、加藤委員からご指摘いただいた学びの連続性や接続について、理解を深めたいと思っております。以上です。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（加藤由美）

よろしく申し上げます。

ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

同じく28ページですけれど、「幼児教育での経験により、小学校入学後の生活力に差がみられるように思います」というご意見をいただいていると思うのですが、この意見は、小牧市内でそういう格差が起こっているように見受けられるという意味なのか、一般論でこういうふうにおっしゃっているのか、ご存じであれば教えていただきたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

野田幼児教育・保育課長。

○幼児教育・保育課長（野田弘）

28ページの「評価委員の意見等」で、「幼児教育での経験により、小学校入学後の生活力に差がみられるように思います」、こちらについては評価委員がご自身で感じたことですので、小牧市のことと社会全体的なことの両方を総合的にご意見いただいていると思います。

中身につきましては、通われている幼稚園や保育園で、例えば餅つきを体験した子、田植えを体験した子、それぞれ保育園や幼稚園において経験したことが違いますので、そういった差が見られますという意見ですので、大きく格差があるという意味ではないと感じております。以上です。

○委員（伊藤和子）

学びはやはり公平性が基本だと、私はいつも思っていて、みんなに満遍なく同じような経験をさせてあげられるものなら、させて差し上げたいのだけれど、やはり園独自でいろいろ企画、計画されて行っている行事、体験もおありだろうから、そこは一律には難しいところとは思うのですが、できるだけ公平性を保てるように、市としてもそういう機会をたくさんつくって差し上げるといいかなと思います。

○教育長（中川宣芳）

野田幼児教育・保育課長。

○幼児教育・保育課長（野田弘）

公平性というものは一律ではないのだけれども、同じような体験の場を、ということでございました。

確かに私立の幼稚園等も市内にはございますので、それぞれの教育方針もございます。ただ、保育園においては、公立保育園がまだ半数以上を占めておりますし、私立の保育園とも園長会等を通じて意識の共通化を図っております。

また、今回こちらの点検評価シートにありますように、小牧市幼年期教育連携推進会議

を通じまして、その辺りのすり合わせをさせていただこうと思います。以上です。

○委員（伊藤和子）

よろしく申し上げます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

最初の1ページの教員研修のところなのですが、評価委員さんのご意見の中に、「経験年数の浅い教員の参加が減っている」という意見があって、2段目の新任・少経験・経験教員研修で年々人数が減っているのですが、これは教員の絶対数が少なくなっているのか、またいろいろな状況で研修の回数が減っているのか、また研修は開催するのだけれど参加する先生方が減っているのか、いろいろな要因が考えられると思うのですが、どうなのでしょう。

○教育長（中川宣芳）

鈴木主幹。

○学校教育課指導主事兼主幹（鈴木久代）

経験年数の少ない教職員の研修についてのご質問ですね。

確かに参加人数を見ると減っておりますが、教員数が大きく減っているわけではありません。コロナの関係で集合研修が難しい場合に、オンラインに切り替えたり、校内の研修に切り替えたりしたものもあります。ここの参加人数は、市が開催する研修への参加人数です。

経験年数の少ない教員への研修につきましては、研修の質を落とさないように、校内のOJTを中心に現場で先生方を育てていきたいと考えております。日常の業務の中で課題を見つけて研修を深めていくことにしております。

○委員（加藤由美）

なかなか集団研修がコロナで難しいところもありますので、だからこそ学校内で新任の先生方をサポートする取組みも、ぜひ考えていただければと思います。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

伊藤委員。

○委員（伊藤和子）

給食のことで、すごく気になっていたのですが、資料の11ページの、給食への愛知県産の食材使用について、全国版で聞いた話なのですが、例えば千葉県だとお魚も取れるし、野菜もとても豊富に取れるそうで、給食に頻繁に千葉県産が必ずとって

いほど入っているらしいです。お野菜は特に。

愛知県としてはどうなのかなというところもありますし、小牧市産も、小牧市で作っていらっしゃる方がたくさんお見えだと思うのですが、愛知県産をと小牧市産をとというのは、すごく意識されているのかをお伺いしたいと思います。

○教育長（中川宣芳）

小川主幹。

○学校給食課主幹（小川敬介）

地元産の食材の件でございますが、野菜につきましては、地元の市場、名古屋北部市場で野菜を購入しております、主に愛知県産の野菜を使っております。

また、小牧市内に農家の方もいますので、地産地消ということで数量など限定される部分もございますが、できるだけ給食の食材に使うように努力をしているところでございます。よろしく申し上げます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（伊藤和子）

はい、分かりました。ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

ほかにございますか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第38号「教育委員会に係る事務の管理及び執行の状況の点検及び評価並びにその公表に関することについて」は、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。

（発言なし）

ご異議がないようですので、議案第38号については、原案どおり可決することといたします。

続きまして、議案第39号「令和5年度使用小中学校教科用図書採択について」であります。

本議案につきましては、関係者のみ議案資料を配付させていただいております。

それでは、事務局の説明を求めます。

伊藤教育部次長。

○教育部次長（伊藤京子）

それでは、ただいま議題となりました議案第39号につきまして、提案理由とその内容についてご説明を申し上げます。

2ページをお願いいたします。

議案第39号「令和5年度使用小中学校教科用図書の採択について」であります。

この案の提出理由であります。令和5年度使用小中学校教科用図書の採択をするため必要があるからであります。

それでは、その内容につきまして説明をさせていただきます。

初めに、教科用図書の採択に係る全体概要を説明させていただきます。

別冊2の1ページ、愛知県令和5年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準をご覧ください。

これは愛知県教育委員会が示す教科用図書の採択基準であります。基本的な方針として、1に示されたとおり、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定に基づいて実施することとなっております。

また、4、5、6に示されたように、採択地区協議会を設けて慎重かつ公正に綿密な調査・研究に基づき、種目ごとに一種選定することとなっております。

次に、採択に当たって準拠すべき事項としまして、1、2に示されたように、令和5年度使用小中学校教科用図書について、市町村教育委員会は種目ごとに令和4年度使用教科書と同一のものを採択することとなっております。これは「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の第14条におきまして、「義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するもの」とあるためであります。

3以下につきましては、特別支援学校、県立、私立学校に関することですので、省略をさせていただきます。

3ページをご覧ください。

以上のことを踏まえまして、教科用図書の採択案一覧となっております。上段が小学校、下段が中学校となります。小学校、中学校ともに全種目選定替えはなく、引き続き同じものを採択することになります。

以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第39号について、ご質問等がありましたら、お受けいたします。

いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第39号「令和5年度使用小中学校教科用図書の採択について」は、原案どおり採択することに、ご異議ございませんか。

（発言なし）

ご異議がないようですので、議案第39号については、原案どおり採択することといた

します。

次に、議案第40号「附属機関の委員の任命について」、事務局の説明を求めます。

入江健康生きがい支え合い推進部長。

○健康生きがい支え合い推進部長（入江慎介）

それでは、ただいま議題となりました議案第40号の提出理由とその内容について、ご説明をさせていただきます。

3ページをお願いいたします。

議案第40号「附属機関の委員の任命について」であります。

この案の提出理由であります。附属機関の委員の任命をするため必要があるからであります。

この附属機関の委員は、小牧市スポーツ推進審議会委員であります。

その内容につきましては名簿でご説明をさせていただきますので、4ページをお願いいたします。

任期満了に伴い、新たに委員を任命する必要があり、長尾英俊公益財団法人小牧市スポーツ協会副会長をはじめ、10名の方をお願いしようとするものであります。

任期につきましては、令和4年8月1日から令和6年7月31日までの2年間で、今回新たをお願いする委員は太字の記載となっております。

以上で議案第40号の説明とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

ただいま説明のありました議案第40号について、ご質問等ありましたら、お受けいたします。

よろしいでしょうか。

（発言なし）

それでは、議案第40号「附属機関の委員の任命について」は、原案どおり可決すること、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議がないようですので、議案第40号については、原案どおり可決することといたします。

続いて、報告・連絡事項に入ります。

初めに、教育総務課、お願いします。

小川教育総務課長。

○教育総務課長（小川正夫）

それでは、報告第2号「愛知県市町村教育委員会連合会令和5年度文教施策と予算措置に関する要望事項の提出について」でございます。

5ページをお願いいたします。

愛知県市町村教育委員会連合会では、毎年度、愛知県教育委員会に対し、「文教施策と予算措置に関する要望書」を提出し、要望活動を行っております。令和5年度の要望書の提出に向け、連合会会長より各市の教育委員会へ要望提出の依頼がございました。6ページになりますが、小牧市教育委員会として、学校施設の整備に対する国の負担・交付金事業の負担割合の引上げ及び交付基準の緩和並びに安定した補助採択のための財源確保について、表の内容欄に記載のとおり要望を提出させていただきますので、ご報告をさせていただきます。

各市より提出されました要望書は、連合会事務局で取りまとめた上、連合会理事会に諮られ、その後、愛知県教育委員会へ提出されることとなりますので、ご承知おきください。続きまして、報告第3号「行政文書の開示について」でございます。

資料はございません。

6月8日付けで市内にございます法人1者から、篠岡小学校ほか特別教室空調機設置工事の金入り設計書の開示請求がございました。

この開示請求に対しましては、6月17日付けで開示の決定を行いまして、請求者の方に通知いたしました。

続きまして、連絡事項、8・9月行事予定でございます。

7ページをお願いいたします。

8月の予定です。

6日土曜日は、平和祈念式典が開催されます。

9日火曜日は、愛知県市町村教育委員会連合会理事会が刈谷市で開催されます。

8ページをお願いします。

18日木曜日は、午後2時から定例の教育委員会を601会議室で開催いたします。

9ページをお願いします。

9月の予定です。

1日木曜日は、小中学校、第一幼稚園の始業式となります。

2日金曜日は、本会議の招集日となっております。

12日、13日、14日と本会議が開催されます。

10ページをお願いいたします。

16日金曜日は、福祉厚生委員会、福祉厚生分科会が開催されます。

20日火曜日は、文教建設委員会、文教建設分科会が開催されます。

26日月曜日は、本会議が開催されます。

27日火曜日は、午後2時から定例の教育委員会を301会議室で開催いたします。

8月・9月の行事予定は以上であります。

以上で、報告・連絡事項とさせていただきます。

○教育長（中川宣芳）

次に、学校給食課、お願いします。

林学校給食課長。

○学校給食課長（林泰博）

それでは、学校給食課より2件報告させていただきます。

報告第4号「小牧市学校給食に係る給食費取扱要綱の改正について」であります。

資料11ページをお願いいたします。

先日、6月13日の臨時教育委員会にて議案として提出しました小牧市一般会計補正予算（第3号）にてご説明しました給食費改正による1食当たりの単価を、小学校現行「235円」から「270円」に、中学校現行「270円」から「300円」に改定するものであります。

令和4年7月1日から施行するものでありますが、改定単価の適用は令和4年9月1日以後の給食費から適用するものであります。

続きまして、報告第5号「小牧市小中学校第3子以降児童生徒学校給食費無償化実施要綱の制定について」であります。

資料14ページをお願いいたします。

こちらも同様に6月13日の臨時教育委員会にて、小牧市一般会計補正予算（第3号）のご説明にて触れておりますが、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減することにより子育て支援を推進するため、保護者が負担すべき学校給食に要する経費のうち、第3子以降の児童生徒に係る学校給食費の無償化を実施することを目的に制定するものであります。

令和4年7月1日から施行するものでありますが、無償化の取扱いの適用は令和4年9月1日以後の学校給食から適用するものであります。

以上であります。

○教育長（中川宣芳）

続いて、学校教育課、お願いします。

安部学校教育課長。

○学校教育課長（安部美早恵）

それでは、学校教育課より3点ご報告をさせていただきます。

報告第7号「小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について」であります。

資料22ページをお願いいたします。

夢チャレンジっ子より、「社労士が解説！はじめての求人票の読み解き方」の開催に関する後援名義使用申請がございました。

この講座は、求人票に明示があります労働条件について理解を深めることを目的とするもので、7月24日の午前10時半から小牧市民交流テラスで開催されます。

教育的意義があると考えましたので、後援の名義使用を許可したものであります。

報告第8号、資料23ページをお願いします。

同じく、「小牧市教育委員会名義使用申請（後援）の許可について」であります。

愛知県小中学校音楽教育研究会より、令和4年度愛知県小中学校音楽教育研究大会（愛日大会）の開催に関する後援名義使用申請がございました。

これは、研究発表、講演を行うことにより、小中学校音楽教育の向上に寄与する目的で開催されるもので、教職員にとって教育的意義があると考えましたので、後援の名義使用を許可したものであります。

続きまして、報告第15号、資料別冊5をお願いいたします。

近年問題となっております職場でのハラスメントにつきまして、市教育委員会におきましても具体的に取り組んでいく必要があると考え、小牧市教職員に係るハラスメント防止対策の基本方針を令和4年6月に策定いたしましたので、ご報告いたします。

簡単に内容の説明をさせていただきます。

この基本方針は、全ての教職員の人格が尊重され、お互いが信頼し、快適に働くことができる職場環境の形成を目的とし、「ハラスメントをしない、させない、見過ごさない」を基本的な考え方として策定いたしました。

今後取り組んでまいります具体的な対策といたしましては、別冊5の5ページをお願いいたします。

まず、教育委員会内にハラスメント相談窓口を開設いたします。今後は、県総合教育センターの相談窓口とともに、学校教育課内の相談窓口を周知してまいります。

また、相談窓口の対応だけでは難しい案件に関しましては、教職員ハラスメント対応委員会を設置し対応してまいります。ハラスメントの意識啓発や知識向上を図るため、ハラスメント防止研修も行ってまいります。

また、研修の一環として、自分自身の行為を振り返ることができるセルフチェックリストを定期的に実施してまいります。

教育委員会としましては、これらのハラスメント防止対策を実施していくに当たり、プライバシーの保護、相談者等が不利益な取扱いを受けないよう十分注意して対応していく所存でございます。

学校教育課からの報告は以上となります。

○教育長（中川宣芳）

次に、文化・スポーツ課、お願いします。

藤田文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（藤田伸也）

それでは、文化・スポーツ課から6件報告をさせていただきます。

初めに、別冊3をお願いいたします。

報告第9号「令和3年度一般財団法人こまき市民文化財団事業報告及び収支決算について」であります。

別冊3の1ページをお願いいたします。

令和3年度事業報告であります。

こまき市民文化財団は、「市民がともにつくる文化を支え、文化をとおして人々に心の豊かさを提供する」というビジョンに基づき、様々な文化事業などを提供するとともに、利用しやすく親しみやすい施設の運営を行ってまいりました。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年度の前半については施設の利用停止、利用時間の短縮、各種事業においても中止、延期、入場制限を余儀なくされたことから、令和2年度と比較して施設利用者数、来場者数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染以前の状況にはまだ至っていない状況であります。

それでは、各事業の概要についてご説明をさせていただきます。

Ⅱの文化事業についてであります。

1の普及事業では、鑑賞や体験を通して市民に良質な文化を提供し、市民が文化芸術に興味を持つきっかけづくりとして、幼稚園・保育園の音楽鑑賞事業などを実施いたしました。

6ページをお願いいたします。

2の伝統文化事業では、豊かな日本文化を継承するために、文化協会等と連携して、ジュニア育成文化活動などを実施いたしました。

8ページをお願いいたします。

3の舞台公演事業では、市民が優れた音楽、舞踊、演劇等の文化芸術を鑑賞する機会を提供いたしました。

10ページをお願いいたします。

4の美術事業では、市民の創作活動の発表の場として、小牧市民美術展などを開催いたしました。

11ページをお願いいたします。

5のこまなび事業では、こまなびサロンを拠点として、市民講座、ゆうゆう学級講座等を開催いたしました。

13ページをお願いいたします。

6の広報事業では、情報誌「こまぶん」の発行やホームページ、SNS、メディアなどを通じて積極的な情報発信に努めました。

15ページをお願いいたします。

Ⅲの施設運営事業では、指定管理者として、小牧市市民会館、中部公民館、歴史館、青年の家、史跡情報館の5施設の管理運営を行いました。

続きまして、令和3年度収支決算であります。

少し飛びまして、26ページをお願いいたします。

(2)の正味財産増減計算書でご説明をさせていただきます。

中段となりますが、経常収益の合計は4億5,092万4,396円で、前年度より90万4,000円余の減額であります。

これに対しまして、経常費用は27ページをお願いいたします。

中段より少し上になりますが、経常費用計4億5,254万8,396円で、前年度より93万1,000円余の減額となっております。よって、経常費用計の少し下となりますが、当期経常増減額といたしましてマイナス162万4,000円、その少し下の一般正味財産期末残高はマイナス1,438万4,000円、最下段の正味財産期末残高は2,561万6,000円で、前年度より162万4,000円の減額となっております。

以上、報告第9号についてのご説明とさせていただきます。

続きまして、別冊4をお願いいたします。

報告第10号「令和3年度公益財団法人小牧市スポーツ協会事業報告及び収支決算について」であります。

別冊4の1ページをお願いいたします。

令和3年度の事業報告であります。

小牧市スポーツ協会は、スポーツの振興と市民総スポーツ化を目指した生涯スポーツの伸展に努めるとともに、令和3年度はシティマラソン大会、各種スポーツ教室等、中止や制限を余儀なくされたものはあったものの、新型コロナウイルス感染症の予防策を講じながら、各種事業の実施や施設の効率的な管理運営に努めました。

それでは、各事業の概要についてご説明をさせていただきます。

(1)の市民のニーズに合わせた様々なスポーツを実施する機会と場を提供する事業といたしまして、アの健康・体力づくりに関する事業では、(ア)の基礎体力づくり、(イ)のジュニア育成事業。

2ページをお願いいたします。

(ウ)のスポーツ教室開催事業を実施いたしました。このうち、ジュニア育成事業では、令和2年度は活動期間が主に2学期のみでしたが、令和3年度は活動日数が増加したなどにより、参加人数は3,243名増の延べ1万7,450名となりました。

続きまして、イの競技スポーツ大会開催事業では、2ページから3ページに記載しております(ア)のレクスポ小牧2021開催事業をはじめ6つの大会を開催する予定でしたが、レクスポ小牧2021と市民スポーツ大会の15種目、小牧シティマラソン大会に代わるバーチャル小牧シティマラソン大会を除きまして、その他の大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

4ページをお願いいたします。

ウのスポーツを実施する場の提供事業では、指定管理者として、南スポーツセンターをはじめ6施設を市民に提供いたしました。令和3年度は施設の休館、利用制限はあったものの令和2年度より開館日数が増えたことにより、合計利用人数は令和2年度より3万

9, 538名増の43万4, 388名となりました。

(2)の市民にスポーツを観戦する機会を提供する事業では、記載の5大会11試合を予定し、うち5試合については新型コロナウイルス感染状況により中止となりましたが、Bリーグ、Vリーグなど、日本のトップレベルのスポーツを観戦する機会を提供いたしました。

5ページをお願いいたします。

(3)のスポーツに関する環境整備及び活動支援事業では、イの加盟団体への助成事業で、各種加盟団体の活動支援として助成金を交付し、少し飛びますが、7ページをお願いいたします。エの地域スポーツクラブ設置事業では、16の小学校ジュニアクラブに対して助成を行いました。

8ページをお願いいたします。

オの表彰・激励事業では、スポーツの振興にご尽力いただきました方々をはじめ、国際大会や全日本大会等ご活躍をされました選手の栄誉をたたえました。

続きまして、令和3年度収支決算であります。

少し飛びますが、12ページをお願いいたします。

(2)の正味財産増減計算書でご説明をいたします。

中段になりますが、経常収益の計は4億6, 531万1, 527円で、前年度より740万4, 000円余の増額であります。

これに対しまして、経常費用の計は、13ページの中段をお願いいたします。

経常費用の計は4億6, 624万938円で、前年度より644万4, 000円余の増額であります。よって、経常費用計の少し下となりますが、当期経常増減額といたしましてマイナス92万9, 411円となります。

その下の(2)の経常外費用の賠償責任引当金繰入3, 400万円は、令和2年11月に発生いたしました事故に係る概算の賠償額であります。よって、その少し下の一般正味財産期末残高は2, 858万6, 336円、最下段の正味財産期末残高は9, 792万54円で、前年度より3, 492万9, 000円余の減額となっております。

以上、報告第10号についての説明とさせていただきます。

それでは続きまして、別冊4の後の、資料24ページをお願いいたします。

「小牧市教育委員会名義使用申請(後援)の許可について」3件ご報告をいたします。

報告第11号で、愛知県特別支援学校知的障害教育校体育連盟より、第37回愛びっくバスケットボール大会について、後援の名義使用の申請があったものであります。

その内容は、対外試合を通して相互の交流と技術の研さんの場として、体育・スポーツ実践の機会を広く与えるもので、生徒の体力の増進、特別支援学校知的障害教育校体育の振興に寄与するものであることから、後援名義使用を許可したものであります。

25ページをお願いいたします。

次に、報告第12号で、パパママキャンパスより、キッズプログラミング体験&マネー講座について、後援の名義使用の申請があったものであります。

その内容は、年中から小学生とその保護者を対象にプログラミング体験講座などを実施するもので、子どものプログラミング学習に資するものであることから、後援名義使用の許可をしたものであります。

27ページをお願いいたします。

次に、報告第13号で、イトマンスイミングスクール春日井校より、夏休み特別水泳教室について、後援の名義使用の申請があったものであります。

その内容は、泳げない小学生を対象に水泳の体験教室を開催するものであり、子どもの水泳技能向上に資するものであることから、後援名義使用を許可したものであります。

続きまして、報告第14号「行政文書の開示について」ご報告をいたします。

資料はございません。

令和4年6月13日付けで市内在住の方より、小牧市温水プール劣化調査最終報告書についての開示請求がありました。

この開示請求に対しましては、6月22日付けで開示の決定を行い、請求者の方に対して通知をさせていただきました。

以上で報告とさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

○教育長（中川宣芳）

報告・連絡事項は以上であります。何かご意見、ご質問がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

加藤委員。

○委員（加藤由美）

児童生徒のジュニア育成等の参加の人数について、お尋ねしたいのですけれども、昨年度との比較で、人数が増えていてもまだまだコロナ前の状況とは比較ができないかもしれないのですけれども、参加する児童生徒の人数は増えつつあってコロナ前の状況に戻りつつあるのか、まだまだそこまでいかないのか、どんな感じなのでしょう。

○教育長（中川宣芳）

藤田文化・スポーツ課長。

○文化・スポーツ課長（藤田伸也）

ジュニア育成活動の状況でございます。

令和3年度につきましても、令和2年度と同様に活動の制限や日数の制限はやはりございまして、令和2年度と比べましては、制限にいろいろな予防措置を行いながら、参加人数が増加したということがございますけれども、まだコロナ前の状況にも戻っていないような状況でございます。以上でございます。

○教育長（中川宣芳）

よろしいですか。

○委員（加藤由美）

ありがとうございます。

○教育長（中川宣芳）

それでは、ほかにご発言はありませんか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、ここで公開による会議を終了いたします。

関係者以外は退室してください。

—関係者以外退室—

○教育長（中川宣芳）

これより非公開の会議を開会いたします。

<開会 午後 3時07分>

非公開会議

<閉会 午後 3時11分>

○教育長（中川宣芳）

ほかにご発言はありませんか。

（発言なし）

ほかにご発言もないようですので、令和4年第7回定例教育委員会をこれにて閉会いたします。お疲れさまでした。

<閉会 午後 3時12分>

署 名 欄

教育長

委員

委員

委員

委員

作成職員